

平成 30 年 4 月 9 日

保護者の皆様へ

名護市立名護小学校
校長 大城 勝
(公印省略)

はしか（麻しん）に係る対応等について

春陽の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。本日、新任式・始業式を無事終え、平成 30 年度のスタートを切ることができました。今年度もよろしく願います。

さて、県内のはしか(麻しん)の患者数が 33 人となり、感染が広がっているとの報道がされております。本市においても 6 人が確認され、那覇市に次いで 2 番目に多い数字となっております。報道等からもわかるように、はしか(麻しん)は、感染力が強く、手洗いやうがいでの予防することはできません。

つきましては、当面の間、下記のことにお留意下さり、はしか(麻しん)の感染拡大を防止に御理解、御協力をお願いします。

記

- 1 風邪に似た症状(発熱、せき、鼻水、目の充血など)や発しんのある児童は、出席停止とします。登校はさせずに自宅等にて体調観察をお願いします。(欠席にはなりません)
- 2 登校後、上の症状が見られた場合は、保護者に連絡後、下校させることもあります。
* 登校時(門等)に見られた場合は、その場で下校してもらうこともあります。
- 3 登校前には、家庭で検温を行うなど体調確認をお願いします。
- 4 不要な外出は控えて下さい。特に人混みには行かないようにして下さい。
- 5 ワクチンを 2 回(第 1 期：1 歳、第 2 期：入学前)接種していない園児・児童については、接種の協力願いの連絡を行います。
- 6 20～40代の成人に多く見られる感染症ななっています。児童への対策と同時に保護者の対策もよろしく願います。

※万一罹患した場合

- ①必ず学校へ連絡して下さい。
- ②解熱後3日を経過するまで出席停止とします。
- ③はしかが疑われる場合についても出席停止とします。
- ④公共交通機関の利用は控えて下さい。

はしか（麻しん）

○感染すると 10～12 日(約 2 週間)後に、発熱やせき、鼻水、目の充血など、かぜのような症状が出ます。一度熱が下がった後、再び高熱と全身に発しんがでます。
○症状が出る 2 日前から、発しんが消えてから 4 日後または熱が下がって 3 日後までは人へ感染させる力があります。